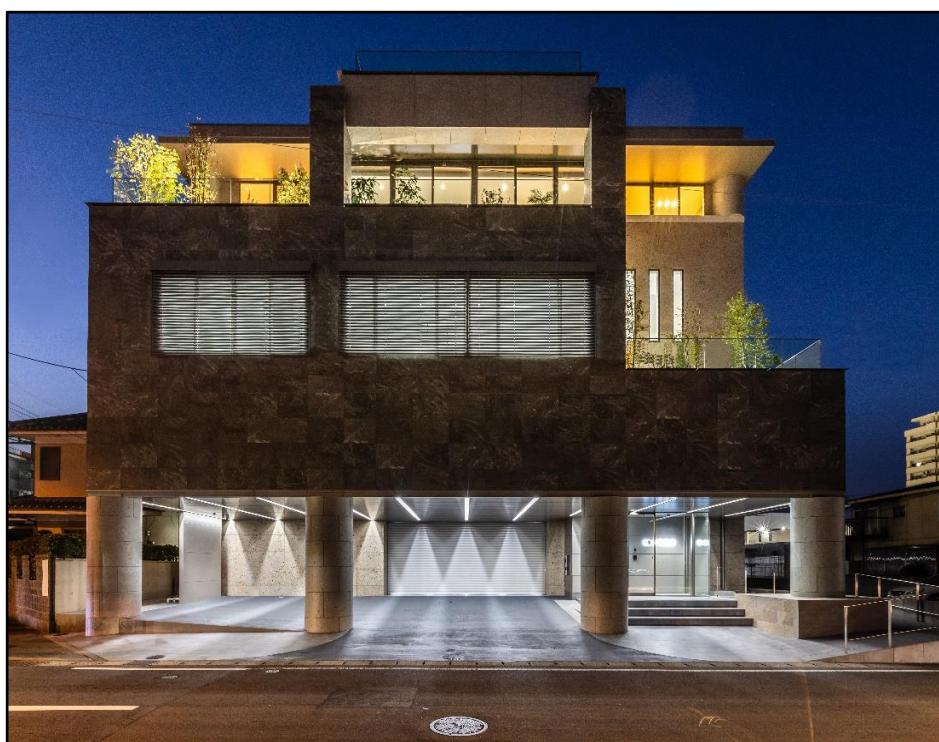


エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2023年7月～2024年6月



【 第2版 】
発行日：2024年7月22日

株式会社熊野建設



目 次

1. 組織の概要	P1
2. 実施体制	P2
3. 環境経営方針	P3
4. 環境経営目標	P4
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	P5
6. 環境経営活動計画の評価	P6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P7
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	P8
9. 具体的な取組状況	P9～10

1. 組織の概要

①事業者名、代表者名など

株式会社熊野建設
代表取締役 佐藤嘉洋

②所在地

本社 〒870-0822 大分県大分市大道町5丁目4番14号
倉庫 〒870-0889 大分県大分市大字荏隈字庄ノ原1827番

③環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役社長 佐藤 嘉洋
担当者 総務部部长
担当者 総務部
連絡先 電話 097-545-5480
FAX 097-543-7928
メール k-kumano@oct-net.ne.jp

④事業内容

・建設業

許可番号 大分県知事 許可(特-3)第4879号
建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、
タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業

許可番号 大分県知事 許可(般-3)第4879号
土木工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

⑤事業規模

活動規模	単位	令和5年
工事件数	件	187
売上高	百万円	1,984
従業員数	人	33

⑥事業年度

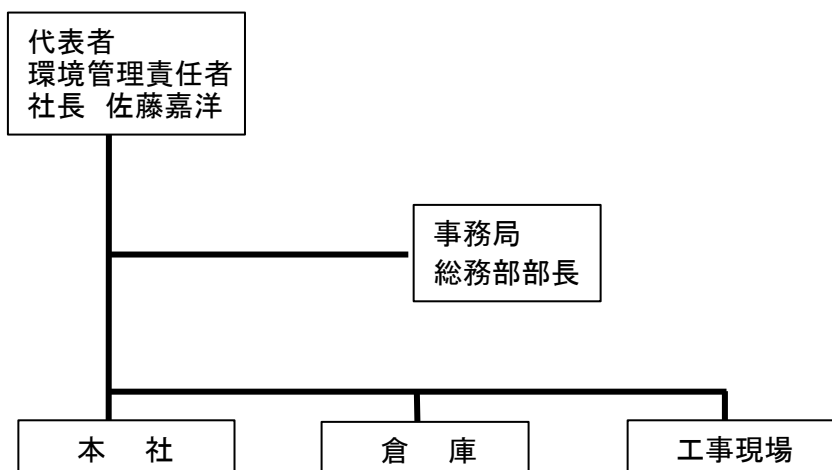
7月～6月

⑦対象範囲

全組織
建築工事業

2. 実施体制

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営活動及び環境経営活動計画の企画・作成・実施 ・自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境経営活動に参加する

3. 環境経営方針

■基本理念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。
建物の建築などの事業活動における環境負荷の低減と地域の環境保全の活動を全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

■行動指針

1具体的に次の事に取り組みます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進します。
- ③水資源を大切にするため節水に努めます。
- ④環境に配慮した工事を実施します。
- ⑤事業所周辺に清掃活動を推進します。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営システムの継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：2023年2月28日

更新日：2023年11月1日

株式会社熊野建設

代表取締役 佐藤 嘉洋

4. 環境経営目標

各年度の対象期間は、7月～翌年6月

環境方針 の番号	選択課題	基準年度 2021年度実績	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	104,383 Kg-CO2	103,339 基準年度比 △1%	102,295 基準年度比 △2%	101,252 基準年度比 △3%
1-1	電力消費量	115,220 kWh	114,068 基準年度比 △1%	112,916 基準年度比 △2%	111,763 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量	22,715 ℓ	22,488 基準年度比 △1%	22,261 基準年度比 △2%	22,034 基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量	2,764 ℓ	2,736 基準年度比 △1%	2,709 基準年度比 △2%	2,681 基準年度比 △3%
2	産業廃棄物再資源化 (建設廃棄物)	リサイクル率 93.40%	リサイクル率 95%以上	リサイクル率 95%以上	リサイクル率 95%以上
3	水使用量	1796 m ³	1778.04 基準年度比 △1%	1760.08 基準年度比 △2%	1742.12 基準年度比 △3%
4	環境に配慮した工事を 実施する。		環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理
5	社会貢献への参加		地域の清掃活動 やボランティア参加 2回	地域の清掃活動 やボランティア参加 2回	地域の清掃活動 やボランティア参加 2回

(注記)

1. 電力のCO2排出係数は、九州電力調整後係数 2021年の0.385kg-CO2/kWhを使用した。

2. 基準年度は旧社屋の実績

仮事務所:2022年6月～2023年10月

新社屋:2023年11月～

5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間: 2023年7月～2024年6月

評価基準: ○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境方針番号	選択課題	基準年度 2021年度	23年度目標 基準年度比 △2%	23年度 実績	目標 達成率	評価	
1	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	本社 (仮事務所 新社屋)	68,660	67,286	15,399		
		倉庫	9	9	14		
		現場	35,713	34,999	15,532		
		計	104,382	102,294	30,945	331%	○
評価と 次年度 の取組 内容	本社は昨年の11月に新社屋で業務を開始し、太陽光発電の設置等で節電に務めた。 目標は達成できたが、新社屋で事業活動してからの新しい目標の数値を設定する必要がある。						
1-1	電力消費量 (kWH) (太陽光発電使用量を含む)	本社 (仮事務所 新社屋)	41,456	40,627	30,820		
		倉庫	24	24	36		
		現場	73,740	72,265	40,101		
		計	115,220	112,916	70,957	159%	○
評価と 次年度 の取組	目標は達成できたが、新社屋で事業活動してからの新しい目標の数値を設定する必要がある。						
1-2	ガソリン消費量 (ℓ)	本社 (仮事務所 新社屋)	22,715	22,261	1,793		
		計	22,715	22,261	1,793	1242%	○
評価と 次年度 の取組	給与改定により令和5年6月から自家用車ガソリン代の支給から通勤手当の支給に変更になったため、ガソリンの使用 が 社有車だけになり、消費量が大幅に減少した。新しい目標の数値を設定する必要がある。						
1-3	軽油消費量 (ℓ)	現場	2,764	2,709	36		
		計	2,764	2,709	36	7524%	○
評価と 次年度 の取組	目標は達成できているが、以前と違い現場で軽油を使用することがほとんどなくなっている。 新しい目標の数値を設定する必要がある。						
2	産業廃棄物再資源化率 (建設廃棄物) リサイクル率 %	現場	93.4	95.0	84.1		
		計	93.4	95.0	84.1	89%	×
評価と 次年度 の取組	リサイクル出来ない廃プラの量が多くなった。 次年度は目標達成に努める。						
3	水使用量 (m ³)	本社 (仮事務所 新社屋)	461	452	559		
		現場	1,335	1,308	517		
		計	1,796	1,760	1,076	164%	○
評価と 次年度 の取組	目標は達成できたので、次年度も目標達成に努める。						
4	環境に配慮した工事の実施			実施する	実施した	100%	○
5	社会貢献への参加			地域の清掃 活動	実施した	100%	○

6. 環境経営活動計画の評価

○:できた △:改善の余地あり ×:できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	事務所	現場
二酸化炭素 排出量 削減	1-1 電力消費量削減	1. 冷暖房設定温度は作業環境に配慮した適切な温度とする。	○	○
		2. OA機器の退社時電源OFFする。	○	○
		3. 空調機フィルターの清掃する。	○	—
		4. 不必要箇所の照明を消す。	○	○
	1-2 ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。	○	○
		2. アイドリングストップする。	○	○
		3. 急加速急停車をしない。	○	○
		4. 車内の整理。	○	○
2	産業廃棄物 リサイクル率 (建設廃棄物)	1. 廃棄物の分別を徹底する。	○	○
		2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	○
		3. マニフェストを適切に管理する。	○	○
3	水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	—	○
		2. 洗いものはまとめてする。	○	○
4	環境に配慮した工 事を実施する。	1. 環境に配慮した重機・機械を使用する。	—	○
		2. 振動騒音を抑制し近隣からの苦情を発生させない。	—	○
		3. 省エネ商品を積極的に使用する。	—	○
		4. 資材・機材を効率的に配送する。	—	○
5	社会貢献への参加	1. 本社周辺のごみ拾い活動。	○	—
		2. 各現場1回以上のゴミ拾い活動。	—	○

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。
また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

遵守評価日：2004年7月22日

遵守評価者：三浦章佳

	関係法令	チェック項目	チェック方法	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	1 産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	○
		2 廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	○
		3 保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	○
		4 管理票の交付状況定期報告	年間報告提出の確認	○
		5 収集運搬車への表示およびマニフェスト携帯	現場確認	○
2	建設リサイクル法	1 対象工事に係る分別、再資源化の実施	現場確認	○
		2 対象工事の市町村長への届出、報告	届出書、報告書	○
3	大気汚染防止法	1 石綿含有建材調査結果の報告	届出書	○
4	騒音規制法	1 対象工事における騒音規制(特定建設作業)	現場確認	○
5	振動規制法	1 対象工事における騒音規制(特定建設作業)	現場確認	○
6	フロン排出抑制法	1 業務用エアコン室外機定期点検(1回/3ヵ月)	点検表	○
		2 業務用エアコン室外機適切な廃棄	フロン回収書	○
7	資源有効利用促進法 (PCリサイクル法)	1 PC、周辺機器の適切廃棄	領収書	○
8	家電リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル券	○
		2 廃棄時の適正処置	領収書	○
9	自動車リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル券	○
		2 廃棄時の適正処置	領収書	○

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

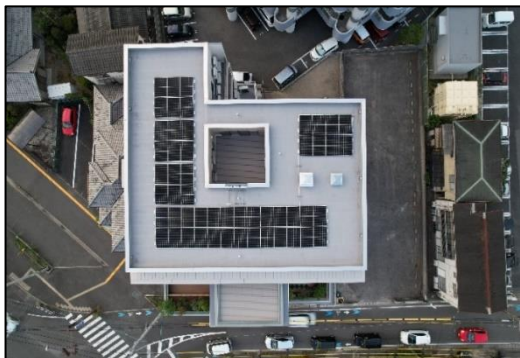
会社名	株式会社熊野建設		
見直し実施日	2024年7月22日(月)		
出席者	代表者 佐藤 嘉洋	環境管理責任者 佐藤 嘉洋	
	事務局 三浦 章佳		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	継続実施
2 環境経営目標の達成状況	廃棄物排出量だけ未達となったので、もう一步で目標達成する	目標目指し継続実施
3 環境経営計画の実施状況	特に問題はなかった	継続実施
4 問題点の是正、予防の状況	定期的に協議し、対処していく	継続実施
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情は1件もなかった	問題なし
6 環境上の緊急事態の訓練及び対応結果	特に問題はなかった	継続実施
7 その他	特に報告事項はなかった	問題なし

見直しの必要性判断と代表者の指示	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続する
	③環境経営計画	継続する
	④実施体制	継続する
	その他の指示	環境教育による周知徹底と社内のコミュニケーションの機会を増やし、実行面での成果に期待する

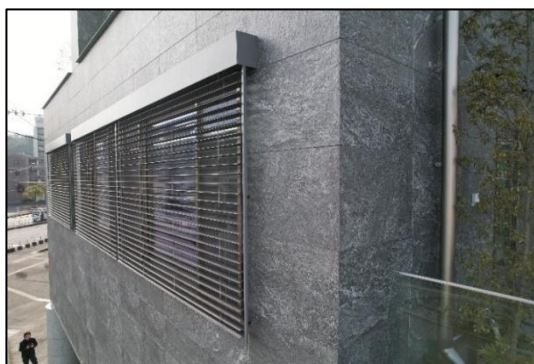
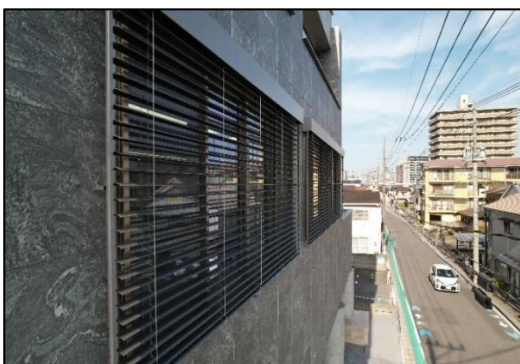
9. 具体的な取組状況

①新社屋屋上に太陽光発電システムを設置



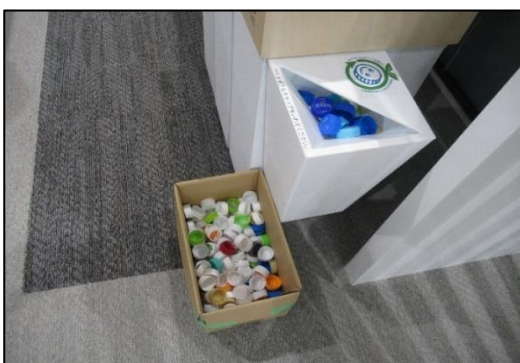
日中発電した電力を事務所の照明やエアコン等の電気に使用しています。
 $415W \times 52枚 = 21.58kW$

②新社屋に電動外付けブラインドを設置



ブラインドの開閉を自動で行い、夏は太陽光を遮って暑さを和らげたり、冬は太陽光を積極的に取り込んで室内の空気を暖めるのに役立ちます。
また、照明器具と連動することによって、室内の明るさを自動調整しています。

③ペットボトルのフタを回収



回収したフタは大分県建設業協会大分支部で集めて、それがワクチンに変わります。

④ポスターで節電の呼びかけ



⑤地域貢献活動



不定期の土曜日に会社周辺のごみ拾いを行っています。